

今まで受けた授業(社会についての)が一番、今の
社会について理解がしやすく、とても分かりやす
くて楽しみながら受けることができました。

選挙のゲームで一票の格差の大切さが分かり
ました。合間に何度も簡単なクイズがあつて
おもしろかつたです。

一人一人の票が202万円の価値があると知り驚きました。
アクティブな活動も織り交せていたので選挙を体感できました。
新聞を読んで情報を頭にいたいと思いました。

今日の感想

いろいろ選挙についてや争点に関心があるかを発表できた
です。もうすぐ二十歳になるので選挙についていろいろ学べば興
味を持つことができたらなと思います。

意見の話し合いをしたことで、自分が思いつかない
ような問題を聞くことができ、今の日本を
少しでも再確認する機会になりました。

「選挙報道と主権者教育」の感想

今回の授業で、有権者になるとはどういう事
なのか、有権者はどう考えを持っていなければ
ならないのかなど、様々な事を学ぶことが
できました。

今回の授業で初めて選挙を体験してみたら、

いろいろな考え方があふれる感じが思いました。

難しい言葉がたくさんあって興味を持ったので

そのことについて調べてみます。

今回の選挙報道と主権者教育を通じて、改めて若い世代が選挙を通じて自分たちの意見を表すことが大切なんだなと思いました。自分たちの世代だけでなく他の世代まで平等な政治になればなと思いました。

この授業を終えて、若い人(10代)の投票率が落ちていたり、

選挙についての仕組みだったり、阪神・淡路大震災についてなど、さまざまなことを楽しく、真剣に教えていただきました。

自分たちだけではなく周りのことにも意識しながら、これからの人生を過ごしたいと思いました。

感想

私は今回の学習で学んだことは、
前回よりも「選挙に行こう。投票しよう。」
という気持ちが高まりました。

として、私が住む兵庫県で起きた

阪神・淡路大震災のことを、

自分の出身地ながら全く知らなかったのも、
と知るべきだと思ったり、

今後もっと防災に気をつけていこう。

備えていこう。と思いました。

18歳になって最初の選挙は、記念として行くかもしれないけれど、20代
になってくると、仕事などでいそがしかったり、めんどうくさくて行かなくな
りで行かないのが今の現状なので、それを自分達の代でしっかり変えてい
かないといけないです。

山崎 誠

自分は2023年に18才になる
ので、^{選挙}選挙に行ってみたいと思っ
た。